

令和6年度 第4回小松島市ごみ処理施設整備基本計画策定会議 議事要旨

日時：令和7年2月5日(水)10:00～

場所：小松島市役所 4階 大会議室

出席委員

上月委員長、澤口委員、蔭山委員、津川委員

会議に付した案件

- 議題（1）マテリアルリサイクル推進施設の処理フローについて
- （2）小松島市ごみ処理施設整備基本計画（素案）について
- （3）パブリックコメントの実施について

議事要旨

議題（1）マテリアルリサイクル推進施設の処理フローについて

マテリアルリサイクル推進施設の処理フローについて報告。

委員意見：ケース4の建設工事費が約33億円で、ケース5が約29億円となっており、4億円ほど差があるが、どのような要因なのか。

事務局：ケース4は、分別区分を変更した上で、機械化をより行うシステムとなっており、ケース5は、ヤードにて手選別を行うシステムである。機械化の程度が大きい分、ケース4のほうが建設工事費としては、高い結果となっている。逆に、人件費がかかる分、運営維持管理費としては、ケース5のほうが高い結果となっている。

議題（2）小松島市ごみ処理施設整備基本計画（素案）について

小松島市ごみ処理施設整備基本計画（素案）について報告。

委員意見：この素案を用いてパブリックコメントを行うのか。

事務局：本日の会議で、この素案について了承いただいた後、パブリックコメントを実施する予定である。

委員意見：内容が多岐にわたり、ボリュームも大きいため、ご理解いただくのが難しいのではないかと思う。できるだけ見やすくして、確認しやすいようにもう少し内容を絞ることはできないのか。

事務局：これまでの検討の経過を示すためにボリュームが大きくなっている。パ

ブリックコメントで提示する計画については、この素案とし、ご意見を踏まえたうえで、もう少し絞った計画とすることも一案ではないかと考える。

委員意見 : 固形燃料化を行う場合と、リサイクル原料で搬出する場合、どちらのほうが市にとってより良い方法なのか。

事務局 : 現時点では、どの方策をとるのが良いか判断しかねるため、今回の基本計画では決定せずに、今後の状況を踏まえて、引き続き来年度の基本設計時に検討することとしている。それぞれメリット・デメリットがあるため、どの利用計画が一番リスクが少なく、本市の得られるメリットが大きくなるかというところを慎重に判断していきたい。

委員意見 : 固形燃料の発熱量について、低質ごみから高質ごみまでの記載があるが、この値は必要なのか。

事務局 : 低質ごみは、搬入されるごみの中で一番発熱量が低いごみ、高質ごみは、搬入されるごみの中で一番発熱量が高いごみである。好気性発酵乾燥方式では、搬入されたごみが、混合され発酵設備に投入されるため、ごみ質が平準化し、ほとんどが基準ごみとして処理されるが、万が一、低質または高質ごみに偏って搬入された場合に、生成された固形燃料の発熱量を把握するために記載している。固形燃料の品質のばらつきとして、低質ごみから高質ごみまでの間になるであろうという想定値である。

委員意見 : 環境保全目標の設定について、法規制等以上の厳しい規制基準の設定は考えているのか。

事務局 : 現在、生活環境影響調査を実施しており、その予測・評価を踏まえる中で、検討していきたいと考えている。

委員意見 : 慎重に対応する必要があると考えるため、しっかりとした対応をお願いしたい。

委員意見 : 基準としては、国や県が定めるものでよいと考えるが、地域性に配慮して環境保全目標を設定する必要がある。

それと、施設整備基本方針について、従来の焼却のような書き方になっている。せっかく新しい好気性発酵乾燥方式を採用しているので、基本方針の項目を満たしている、特徴があるという記載を計画のどこかに追加してはどうかと思う。わかりやすさの観点からも、検討いただきたい。

委員意見 : パブリックコメントで、このボリュームの計画を提示しても、多くの意見をもらえない可能性があるため、可能であれば、概要版を追加で提示することを検討いただきたい。

委員意見 : その他施設整備に関する検討で、従来の焼却ありきの施設ではないので、そういったところを利活用できるような施設として、活用できる可能性を概要版に記載していただきたいと思う。

### 議題（３）パブリックコメントの実施について

パブリックコメントの実施について報告。

委員意見 : 意見の提出ができる方として、本市の区域内に存する学校に在学する者とあるが、小学校も含まれるのか。

事務局 : 小松島市パブリックコメント手続要綱の規定では、学校の種類まで定めていないので、対象になると考える。

委員意見 : パブリックコメントの実施を周知する方法は、どんなものを考えているのか。

事務局 : 徳島新聞火曜日欄の「広報こまつしま」等の広報媒体を使用する予定である。

委員意見 : パブリックコメントを周知する期間について、みなさんに知っていただいて、たくさん意見をいただけるように工夫していただきたい。本日の修正点の反映もあるため、記載の日程にとらわれず、しっかりとみなさんの意見を聞いてもらえる状態で実施してもらいたい。

—————了—————